

## 女の浦海岸清掃活動【田鶴小学校】

4月の遠足で、全校児童が女の浦海岸に合流し、ごみを拾いました。

昨年、6年生が「田鶴アピール大作戦」の授業で女の浦海岸を訪れた時にも清掃しましたが、大変ゴミが多かったので、今回、改めて全校で清掃しようと計画しました。

当日は、6年生をリーダーとする10の縦割りグループで活動しました。全校児童がみんなでよく協力し合い、一生懸命にごみを拾っていました。

6年生からは、「来た時より海岸がきれいになってうれしかった。」  
「低学年が危ない物をさわらないように気を付けた。大きい物や重たい物は一緒に持ってあげた。」  
「声かけをしながらみんなで協力した。」  
「中学年もしっかりしていて、低学年の面倒をみながら、『こんなん危ないかなあ』とか考えてごみ拾いしていた。」などの感想が出ていました。

偶然、和歌山市から来ていた方々が、この様子を見て、「何といいことしてるなあ」と感動されていました。

昨年度の6年生の思いから実現した女の浦海岸全校ごみ拾いです。地域の環境美化に取り組んだ経験は、これからの子供たちのさまざまな学びにつながっていくことだと思います。



## 「日根藤六顕彰碑」周辺のひまわりの種まき【宮原小学校】

宮原町須谷地区の住民グループ「ひまわり応援隊」は、江戸時代に起きた水害の復旧に尽力した日根藤六の功績を後世に伝え、住民の防災意識を高めるため、数年前から顕彰碑の周りにひまわりを植える活動を続けています。

「ひまわり応援隊」では、昭和28年の水害から70年近くが過ぎ、当時のことを知らない住民が増えてきたことから、顕彰碑の周辺にひまわりの花を咲かせることで先人の功績を偲び、住民が水害や防災について考える機会になればと考えてこの活動を始めました。

宮原小学校では、子ども達の防災意識を向上しより良い地域づくりへの参加意識を育もうと、昨年度からこの活動に参加しています。今年も、4年生の児童全員が「ひまわり応援隊」の方々と一緒にひまわりの種を土にまきました。参加した児童が家に帰って種まきの話をすると「7月18日には、一緒に咲いたひまわりを見に行こうね」と保護者から言ってもらった子どももいたそうです。

7月上旬から堤防沿いにひまわりの花が咲き始めることでしょう。咲いたひまわりの花を見ながら、親子・家族や地域の方々と、防災について話し合ったり、地域住民のつながりや絆などについて感じたりしていただけたらと思います。



今年の活動のようす



昨年8月